

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立長南中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 82 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

- ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。
- イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。
- ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

- ・全国や大阪では正答数が最も多いのは9問だが、本校は3～10問に分散しており、上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 59／泉佐野市 65／大阪府 70／全国 72.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
○文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある。 1 一選択部分について説明したのとして適切なものを選択する。 (40.2/63.9) ○封筒の書き方を理解し書くことに課題がある。 1 四投稿先の名前と住所を書く。 (41.5/56.8)	○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題がある。 2 三話合いの流れを踏まえ，自分の考えを書く。 (43.9/60.4) ○伝えたい事柄について，根拠を明確にして書くことに課題がある。 3 二広報誌の一部にある情報を用いて，具体例を書き加える。 (61.0/77.8)

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
読書は好きですか	43.9	68.0	○	24.1
新聞を読んでいますか	6.1	12.7	◇	6.6
国語の授業は好きですか	69.5	61.7	◇	7.8
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.2	77.6	◇	6.6
国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしていますか	82.9	77.4	◇	5.5

○10問すべてにおいて正答率が全国平均を下回っており，本校の厳しい学力状況を表す結果となっている。

○無解答率が20%に至る問題が10問中3問ある。複数の文章や表などを読みこなすための集中力が不足する生徒が多く，解答をあきらめてしまう傾向がある。

○「国語の授業は好きですか」や「国語の授業はよく分かりますか」の項目は全国平均を上回っている。特に，「国語の授業はよく分かりますか」という質問に「あてはまる」と答えた生徒は47.6%と，全国平均の28.4%を大きく上回っており，普段の授業では「話す・書く」活動を含め積極的にとりくみ，達成感を得ていることがわかる。生徒が意欲的に学べる教材づくりを今後も継続していきたい。

○「読書は好きですか」や「新聞を読んでいますか」の項目が全国平均より5%以上低い。日常的に文章に触れる機会が少ないことが，今回の調査問題のような複合的な問題や，一般常識的な問題（封筒の表書き）ができないことと関連があると考え。家庭学習の課題に，新聞や本を使うなどの工夫をしていきたい。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・ 数学的な表現を用いて説明する問題や、与えられた説明から式変形の目的を捉える問題、事柄が成り立つ理由を説明する問題では、全国と比較すると無解答率が20ポイント以上の差が見られる。

平均正答率（本校 47 / 泉佐野市 54 / 大阪府 58 / 全国 59.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>○ 簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がある</p> <p>2 連立二元一次方程式 <math>\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}</math> を解く (52.4/70.1)</p> <p>○ 反比例の表から、<math>x</math> と <math>y</math> の関係を式で表すことに課題がある</p> <p>4 反比例の表から式を求める (31.7/48.9)</p> <p>○ 簡単な場合について、確率を求めることに課題がある</p> <p>5 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める (56.1/72.8)</p> <p>○ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある</p> <p>8 (2) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める (26.8/40.8)</p>	<p>○ 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がある</p> <p>8 (3) 図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ (35.4/53.6)</p> <p>○ 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある</p> <p>9 (1) 説明をよみ、<math>6n+9</math> を <math>3(2n+3)</math> に変形する理由を完成する (41.5/57.4)</p> <p>○ 事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある</p> <p>9 (2) 連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する (32.9/59.7)</p>

3. 学習状況調査より

質問項目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	48.7	57.9	◇	9.2
数学の勉強は大切だと思いますか	73.2	84.2	○	11.0
数学の授業の内容はよく分かりますか	67.1	73.9	◇	6.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.7	76.2	○	11.5

- 数学に対して肯定的解答の生徒が、すべての項目において全国平均を下回っている。
- 説明を要する問題や、題意を読み取る問題の無解答率が高く、諦めずに考える力、ことばで表現する力に課題がある。
- 「数学の勉強は好きですか」という質問項目では、昨年度より肯定的解答が10ポイント程度下回っているが、「将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問項目では、10ポイント以上上回っている。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

- ・聞くこと、読むこと、書くこと、全ての領域において全国平均を下回っている。自分の考えを書く問題では、無解答率が65%以上になっている問題もある。

平均正答率（本校 44 / 泉佐野市 53 / 大阪府 56 / 全国 56.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p><b>【聞くこと】</b>                      ○語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞きとることは概ねできている。                      1 (1) ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する (82.7/91.1)</p> <p>○教室英語を理解して、情報を正確に聞きとることに課題がある。                      1 (2) 教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する (63.0/88.6)</p> <p>○日常的話題について、情報を正確に聞きとることに課題がある。                      1 (3) 外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する (56.8/72.3)</p> <p>○聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。                      4 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く (1.2/7.6)</p> <p><b>【読むこと】</b>                      ○日常的話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることに課題がある。                      5 (2) ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する (49.4/74.4)</p> <p>○まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することに課題がある。                      6 発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する (43.2/62.9)</p> <p>○まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することに課題がある。                      7 チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する (39.5/32.8)</p>	<p>○書かれた内容に対して、自分の考えを示すことをできるように、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題がある。                      8 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く (7.4/10.9)</p> <p><b>【書くこと】</b>                      ○一般動詞の3人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことに大きな課題がある。                      9 (2) ①与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く (42.0/73.5)</p> <p>○与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。                      9 (3) ②与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (17.2/32.9)</p> <p>○与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことに課題がある。                      9 (3) ③与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (30.9/37.3)</p> <p>○与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題がある。                      10 学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く (2.4/1.8)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	36.6	56.0	○	19.4
英語の勉強は大切だと思いますか	74.4	85.4	○	11.0
英語の授業はよく分かりますか	53.7	66.0	○	12.3
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.2	85.4	○	12.2
1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	63.4	79.2	○	15.8
1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	45.1	62.9	○	17.8
1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	40.2	77.2	○	37.0
1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	53.7	80.1	○	26.4
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べあったりする活動が行われていたと思いますか	54.9	77.4	○	22.5
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	56.1	74.6	○	18.5

- 「英語の勉強は好きだ」と感じている生徒の割合が、全国との差が大きいことは課題である。
- 「英語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が、全国との差が大きいことは課題である。
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答し

たり意見を述べあったりする活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。

- 「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種類	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○「自分には、よいところがあると思いますか」は、全国平均を18%下回っている。</p> <p>○「将来の夢や目標を持っていますか」は、全国平均を7.1%下回っている。</p> <p>○「朝食を毎日食べていますか」は、全国平均を12.6%下回っている。</p>	<p>○自分には、よいところがあると思いますか  <span style="border-bottom: 1px solid black;">&lt;56.1/74.1&gt;</span></p> <p>○将来の夢や目標を持っていますか  <span style="border-bottom: 1px solid black;">&lt;63.4/70.5&gt;</span></p> <p>○朝食を毎日食べていますか  <span style="border-bottom: 1px solid black;">&lt;80.5/93.1&gt;</span></p>
【家庭学習の様子】	<p>○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」は、全国平均を4%下回っている。</p> <p>家庭学習や読書に関連する他の設問では、次のような結果が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」では、「3時間以上」が全国平均を13.3%上回っているが、11%が「全くしない」と答えており、全国平均を6.6%上回っている。</li> <li>・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」が、65.9%が「全くしない」と答えており、全国平均を31.1%上回っている。</li> <li>・「読書は好きですか」は、全国平均を24.1%下回っている。</li> </ul>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか  <span style="border-bottom: 1px solid black;">&lt;46.4/50.4&gt;</span></p> <p>○読書は好きですか  <span style="border-bottom: 1px solid black;">&lt;43.9/68&gt;</span></p>



<p>【学校生活の様子】</p>	<p>○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」は、全国平均を14.5%下回っている。</p> <p>○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」は、全国平均を8.9%下回っている。</p> <p>○「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか」は、全国平均を13.9%下回っている。</p> <p>○「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」は、全国平均より7.7%下回っている。</p>	<p>○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか  <u>〈67/81.5〉</u></p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか      〈30.5/39.4〉</p> <p>○授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか  <u>〈61/74.9〉</u></p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか      〈67.1/74.8〉</p>
------------------	--	---

## 本校の取組

### ◎これまでの取組

○基礎学力の定着に向けて、習熟度別分割授業や補充的な学習を行っています。

今年度は英語と数学で少人数分割授業を行っています。分割では習熟度別でクラスを分けており、自分の進度に合わせて学習にとりくむことができます。また、各学年で長期休業中に補充学習会を行っており、前向きに学習にとりくむ姿が見られます。1年生で週1回火曜日に行っている7時間目授業は、基礎学力の定着と全教職員が1年生とのつながりをつくることを目的に、全教職員で行っているとりくみです。他にもテスト前に教科担当に質問を聞きに行ける質問日や、各学年で放課後学習会なども実施しています。

- ・数学・英語での習熟度別指導や学級を2分割しての少人数指導の実施
- ・1年生への数学・英語の週1回の7時間目授業の実施
- ・放課後の学習会の実施
- ・長期休業中の補充学習会の実施
- ・定期テスト前の放課後を利用した教科別質問日の実施
- ・手づくりの教材での朝の学習と毎日の宿題の実施

○支援教育の視点を活かしたユニバーサルな授業をめざしています。

- ・蛍光チョークによる授業のめあての明示
  - ・「授業のふりかえり」を実施
  - ・本時の流れを黒板に明示
  - ・視覚支援を取り入れた「目で見てわかる」授業
  - ・黒板周りに掲示物を貼らない等、集中しやすい環境のための教室整備
- すべての子どもたちが授業にとりくみやすくなるための手だてとして、これらを学校全体で確認し、全クラスでとりくんでいます。

○授業改革のための教職員研修を行っています。

- ・すべての学年で研究授業を行い、授業改善に努めています。

全教職員で1つの学年を見る形で研究授業を行っています。今年度は「できた」を実感する全員参加の授業デザイン」「主体的・対話的な授業の探求」をテーマに、研究授業の中で多くの目で子どもの実態を見るとともに、授業の有効なしかけについて研究討議を行い、教職員で共通理解をもつようにしています。

- ・こ小中合同研を通じた校種間の連携・交流・授業規律の統一

長南校区では、はるかこども園・ひかりこども園・長南小学校・長南中学校で合同研修を年2回行っています。研修で異校種の教職員が交流することで、子どもたちの15年間の育ちを見すえて、各学校園で大事にするポイントを確認しています。活発な意見交流と討論が行われ、長南校区でめざす子ども像についての認識が深まりました。

- ・目標に準拠した評価を通じた授業改革

各教科で学期ごとに評価計画を作成した上で計画的に授業を行っています。子どもにとっても授業内で評価基準を明確化することによって授業にとりくむ意欲に影響する姿が見られます。目標に準拠した評価を通して授業改革を行うことを意識しながらとりくんでいます。

- ・相互参観月間の実施

5月と9月の相互参観月間として、全教職員がグループをつくり、お互いの授業を参観するとりくみを行っています。相互参観シートに記入し、放課後に授業についての協議をしています。9月においては、「話し合い活動」を必ずいれるようにし、対話を意識した授業展開に努めました。

○班活動を集団づくりの中心にすえています。

本校は、集団づくりの中心として班活動に重点を置いています。班活動を充実させることで、子どもたちのコミュニケーション力の向上や、ものごとに自主的にとりくむ力の向上をめざしています。集会のある日以外、毎日行っている朝の学習は班単位で行っており、わからないところを子どもたちどうしで教えあう姿が見られます。また、授業でも班活動を取り入れており、子どもどうしの交流や言語活動の充実のための機会をつくっています。その他、授業展開に応じて、ペア学習などを取り入れ、充実した授業ができるよう努めています。

○授業規律の確立のため、生徒指導委員会と連携をとっています。

・全教職員での授業開始3分前入室指導

授業開始3分前に全職員で入室指導を行っています。授業のスタートがスムーズに行えるように全教職員で協力しています。

・授業開始1分前のメロディチャイム

授業開始1分前にメロディチャイムが流れています。音楽（校歌）が聞こえると授業の準備を急ぐ子どもたちの姿も見られ、学年によってはキャンペーンとからめてチャイムで授業スタートにとりくんでいる学年もあります。

・全校の「月間目標」の設定

「月間目標」を設定し、全クラスに掲示しています。具体的な言葉で子どもが意識しやすい目標を生徒指導委員会で話し合っています。

○家庭学習の充実に努めています。

・「家庭学習のてびき」の配布

教科ごとの学習方法や家庭学習のしかたについての情報提供のため、全家庭に「家庭学習のてびき」を年度当初に配布しています。家庭学習のてびきは基本的に4月の家庭訪問時に各家庭に届けられ、家庭学習についての理解を深めてもらい、家庭と学校とが協力して子どもの学力向上をすすめられるようにしています。

・毎日の宿題

家庭学習習慣の定着のため、どの学年でも宿題を出しています。宿題は班長や集配係が集め、担任や教科担当がチェックして返すなど各学年で行っています。

◎これからの取組

○基礎学力の定着に向けて、習熟度別分割授業や補充的な学習を行っています。

○支援教育の視点を活かしたユニバーサルな授業をめざしています。

○授業改革のための教職員研修を行っています。

○班活動を集団づくりの中心に据えています。

○授業規律の確立のため、生徒指導委員会と連携をとっています。

○家庭学習の充実に努めます。

以上の長南中学校が今までとりくんできた学力向上のとりくみを継続し、一層推進していきます。

○その他、これから工夫改善しながらとりくんでいくこと

- ・毎日の宿題、朝の学習、放課後学習の継続
- ・支援教育の視点を活かした授業づくりの推進
- ・授業における言語活動の充実
- ・指導と評価の一体化をめざした授業づくりの充実
- ・学習規律の再確認
- ・教職員研修の充実

- ・地域との交流の充実
- ・他校種との連携の充実

○基礎学力の充実のために反復教材の工夫と家庭学習への活用をすすめます。

○子どもの学力実態に即し、すべての子どもにわかりやすい授業を実現するため、支援教育の観点を活かした授業づくりと、習熟度別少人数指導の工夫と充実を図ります。

○全ての教科で、子どもたちの考える力・判断する力・表現する力をはぐくむことをめざした言語活動の充実をより一層すすめます。

○目標に準拠した評価をさらに充実させるため、授業と評価の一体化を図り、授業改善に努めます。

○支援教育委員会と連携し、個々の子どもの学習状況や課題を把握し、個別支援や通級指導教室の活用などきめ細かいとりくみをすすめます。

○家庭学習の充実を図るため、「家庭学習のてびき」の配布を継続するとともに、内容の充実を図ります。

○大人の協力で子どもたちを見守りサポートするために、家庭・学校・地域の連携を一層すすめます。